

アクティビティノート 〈第 202 号〉



Contents

2013 年 11 月度における受付相談事例を中心に記載しています。

1. 相談業務
 - 1.1. 2013 年 11 月度 相談受付件数 (P.1)
 - 1.2. 受付相談事例および内容の紹介 (P.2～11)
2. 入手資料の紹介 (P.12)
3. メディア情報から (P.13)
4. 化学製品による事故を防ぐために (匂いと臭い(におい)) (P.14)

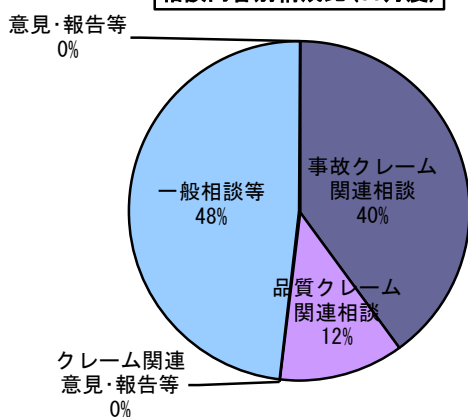
1. 相談業務

1. 1. 相談受付件数

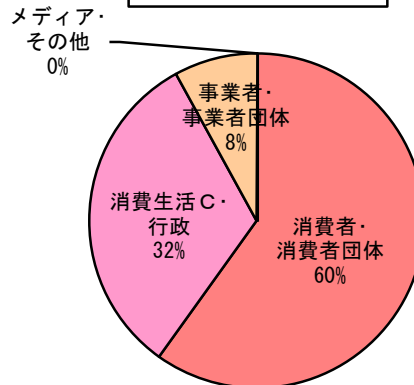
2013 年 11 月度 相談受付件数 (10/22～11/19 実働：20 日)

	事故クレーム 関連相談	品質クレーム 関連相談	クレーム関連 意見・報告等	一般相談等	意見・報告等	合計	構成比
消費者・ 消費者団体	8	2	0	5	0	15	60%
消費生活 C・ 行政	2	1	0	5	0	8	32%
事業者・ 事業者団体	0	0	0	2	0	2	8%
メディア・ その他	0	0	0	0	0	0	0%
合計	10	3	0	12	0	25	
構成比	40%	12%	0%	48%	0%		100%

相談内容別構成比 (11月度)



相談者別構成比 (11月度)



相談内容区分 (改訂 2003 年 8 月)

事故クレーム関連相談	製品の欠陥や誤使用などによって人的・物的な拡大被害が発生したもの
品質クレーム関連相談	拡大被害を伴わない、製品そのものの品質や性能に対する苦情
クレーム関連意見・報告等	事故の報告や品質の苦情に関する意見・要望など、当センターからコメントを出さないもの
一般相談等	一般的な相談・問い合わせ等
意見・報告等	一般的な意見・報告・情報の提供を受けたもの

1. 2. 受付相談事例および内容の紹介

—クレーム関連事案はすべて紹介しています。

※「臭い」と「ニオイ」の区別について

不快または好ましくない場合を「臭い」とし、柔軟剤・芳香剤・化粧品・香水等のように意図的に付加した場合を「ニオイ」と表記することにしていきます。「ニオイ」としたのは、意図的に付加した場合でも、不快とを感じる方がいるため、中立的なイメージとして表現しました。ただし、不快臭を付加した場合（ガス臭等）は「臭い」とすることにしていきます。

◆ 事故クレーム関連相談—10件

1. <隣家の柔軟剤のニオイに不快感> 「従来より、隣家から洗濯物のニオイが自宅（一戸建て）に流れ込み、大変不快に感じている。隣家に、ニオイの元となるものを使用しないよう申し入れたところ、「皮膚が弱いため、柔軟剤を使用している」と、取り合おうとしない。隣家と交渉するために、ニオイ成分の定点測定ができないか」との相談を、若い男性から受けている。どのように対処すべきか、アドバイスが頂きたい。〈消費生活C〉

⇒ニオイ成分の測定については、本年9月19日付けの国民生活センター報道発表資料”柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供”で、室内の総揮発性有機物質（TVOC）を測定した例が報告されています。しかし、屋外では様々な揮発性有機物質の存在が予想され、この方法でも、測定結果と体感するニオイとの間に、十分相関性あるデータが得られない可能性があります。また、測定費用は相談者ご自身の負担となり、現実的にはかなり難しい方法でしょう。柔軟剤には、無香料のものや、ニオイの種類や強さが異なる多くの製品がありますので、隣家の住人とよく相談して、適切な柔軟剤を選択されるよう、ご指導されたいかがでしょうか。

2. <事業者が消費者に調査回答を書面でする責務の有無> 「2ヵ月ほど前にベージュのコットンパンツを購入し、1ヵ月位前に販売元△△社の消臭剤を購入してそのパンツに使用したところ、スプレーしたところがオレンジ色に変色してしまった。パンツは購入後まだ洗濯をしていない新品の状態だったので、△△社に連絡をし、状況を説明したところ、製品と変色したパンツを送り、検査することになった。1週間ほど前に検査結果の連絡が△△社から入り、「メーカーに送って検査をしたが、製品に異常はなく、製品の成分とコットンパンツの糊が反応して変色したようだ、製品には注意書きで『使用前に目立たないところで試してください』と書かれているので、当方には問題ない」とのこと。成分と言われてもよく分からないので、「書面で回答が欲しい」と言ったら「書面での回答はできない」と断られた。断られたことに納得できない」との相談が若い男性から入ったが、回答を書面で欲しいということは過剰要求ではないと思うが、『回答は書面』でというような規制等はないか。〈消費生活C〉

⇒事業者が消費者への調査回答を行うことは、事業者の任意で行う行為ですので、規制はありません。相談者が回答内容又は回答方法に不満であれば、相談者自身で第三者機関に製品検査を依頼することになります。今回の場合、販売元で断られたのであれば、メーカーに直接相談してみてもいいでしょうか。（後日、「販売元からFAXにて回答をもらった」との連絡あり）

3. <洗剤によると思われる皮膚障害> 母親の鼻と咽喉の粘膜がただれ、医師に治療してもらっているが、治りそうになり薬を止めるとまた症状が酷くなる。母はキッチンの掃除に、アルカリ性の強い洗剤を、原液のままハンドスプレーで使用していて、それが原因と思われる。しかし、医師に聞いても「化学物質のことは複雑でよく分からない」と言われた。この洗剤には水酸化カリウムや水酸化ナトリウムが使用されていて、一般の洗剤より濃度が濃いらしい。これらの成分は人の体にどのような作用を及ぼすのかを教えてください。（若い女性）〈消費者〉

⇒お話だけからでは、お母様の症状と洗剤との因果関係は分かりかねますが、水酸化カリウムも水酸化ナトリウムも強いアルカリ性の成分です。強アルカリの成分を皮膚に付着したままにしておくと、皮膚が侵食されます。酷くなると皮膚移植が必要なほどの化学やけどを負った例もあります。業務用の洗剤・洗浄剤の中には強アルカリの製品もありますので、アルカリ性洗剤が皮膚に付いたときは、すぐに大量の水で洗い流すようにしてください。強アルカリの製品を使用する場合は、使用方法を守り正しくご使用ください。また、該当製品の安全性については、メーカーが責任を持って製造していますので、お問い合わせ願います。なお、業務用の製品は専門家が使用するもので、一般家庭では使用はしない方が良いでしょう。

4. <リフォーム中の台所で体調不良> 家のリフォームをしている。台所の壁紙を貼ったところで家を閉めて出かけ、数時間して帰宅後台所に入ったら、最初目がチカチカし、鼻の奥から頭にかけて重たい感じになり気分が悪くなった。他の部屋は現在合板を貼りその上に壁紙を貼る予定だが、壁紙と合板から化学物質が放散されて、家を閉めきって寝ることができなくなるのではないかと心配だ。現在は手を付けていない和室に居るので体調は悪くなく、家族の者は特に体調に変化はない。放散する化学物質を早く薄くする方法はないか。（中高年の女性）〈消費者〉

⇒放散する化学物質を早く薄める一番の方法は常に換気を良くしておくことです。しかし、夜寝るときは閉めきるのでなかなか難しい場合には、家の中の扉を開けて内部の換気を良くしておき、換気扇をつけておくことである程度換気ができます。

5. <隣の庭に撒いた除草剤によるものと思われる体調不良> 4日前に隣家で庭にポリタンクに

入った除草剤を撒いていた。その日から急に頭痛、吐き気、胸の痛みが始まり、3日経っても症状が治まらない。この原因は除草剤だと思い、インターネットで調べ、△△社に当該除草剤の残留期間を問い合わせたところ「3～4時間位で分解して、影響はなくなる。そのような症状が続くということは聞いたことが無い」と言われたが本当か。消費生活センターに問い合わせ、化学製品PL相談センターを紹介された。（中高年の女性）〈消費者〉

⇒お話からでは除草剤との因果関係は不明です。除草剤の種類にもよりますが、液体の除草剤は、地中に入り根から吸収されてその植物を枯らすというのが一般的です。この原理からすると、成分がいつまでも揮発するということは考えにくいので、長くは続かないと思えます。

6. <カビ取り剤で浴室の天井と壁の継ぎ目のコーキングがピンク色に> 数日前に浴室（8年経過）の天井と壁の継ぎ目のあたりが、少しピンク色のような気がして、カビと思い、新しく購入の△△社のカビ取り剤〇〇を使用したら、継ぎ目のシリコンコーキング部分だけがピンク色になってしまった。メーカーに連絡したが「還元漂白剤で落とすことができる」と言われ、やってみたが落ちなかった。原因を知りたいと思い、消費生活センターに連絡したところ、化学製品PL相談センターを紹介された。（中年の女性）〈消費者〉

⇒当センターには、『水差しのシリコンの蓋の内側がピンク色になった』という過去の事例（原因は真菌という雑菌の繁殖）がありますが、カビ取り剤でシリコンコーキングがピンク色になったという事例は無く、知見也没有。一般的に、浴室でのカビ取り剤による変色というと、水道水中の鉄分が何らかの原因で浴室内に残り、カビ取り剤により酸化して変色することがあると言われております。

7. <掛け布団が原因と思われる皮膚障害> 半年ほど前に掛け布団（羊毛50、ポリエステル50）を購入し、息子（成人）に使わせた。それから2週間ほどして息子の全身に酷い湿疹が出、救急で入院した。原因を調べるためにアレルギーテストを行ったが、分からなかった。時期的に原因として考えられるものが掛け布団ではないかと思い、メーカーに申し出たところ、「この製品の出荷時の検査はこのような検査を行っている」と口頭での回答だけで、書面ではもらえなかった。なお、メーカーに相談した時の担当者が、「ホルマリン検査はしていなかったかもしれない」と言っていたので、その検査を他に頼もうと思うが、そちらではできないか。消費生活センターに問い合わせたところ、そちらでできるかもしれないと言われた。（中高年の女性）〈消費者〉

⇒当センターでは、検査は行っておりません。ホルムアルデヒド（ホルマリン）の検査ですと、お近くの保健所で行っている場合があります。また、独立行政法人 製品評価技術基盤機構の

ウェブサイト、「原因究明機関ネットワーク」に登録されている検査機関の一覧 (<http://www.nite.go.jp/jiko/network/>)が、また独立行政法人 国民生活センターのウェブサイト、商品テストを実施する機関のリスト (http://www.kokusen.go.jp/test_list/)が掲載されていますので、お近くの機関にお問い合わせください。なお、検査費用は自己負担となります。一方、ホルムアルデヒドは揮発しやすいので、半年経過していると、保存状態によって検査結果は変わってくると思われます。

8. <柔軟剤のニオイに規制要望> ニオイの強い柔軟剤を使用して洗濯をし、部屋干しされると酷い頭痛、吐き気が起き、2〜3日治まらない。最近では消臭剤のニオイでも同様の症状が出るようになった。自分は化学物質に過敏であると思うが、世の中には自分と同じように、ニオイに過敏に反応する人が結構いることが分かり、強いニオイの製品を禁止するとか規制する等して欲しいと思い、消費生活センターや国民生活センターに連絡したら、化学製品PL相談センターを紹介された。(中年の男性)〈消費者〉

⇒当センターは民間の機関であり、法的な規制や政策等に直接関与できる立場にありません。

本件は行政機関にご相談されてはいかがでしょうか。一方、当センターにも、同様のご相談が年に数件寄せられています。ニオイの感じ方は個人差もあり、製品の品質には問題がなくても、個人の体質等によって合わない場合もあるでしょう。当センターでは、寄せられた相談内容と対応結果を、月次報告「アクティビティーノート」や年度報告書等にまとめて公開することで、情報の共有を図っております。

9. <カビ取り剤で浴室の床タイルが剥がれた> 10年ほど使用している浴室を毎日スポンジで掃除していた。床タイルの目地が少し黒ずんでいたもので、初めてカビ取り剤を使用したところ、10分ほどして目地から泡が出てきた。あわてて直ぐに水で洗い流した。すると、カビ取り剤を掛けたところのタイルが浮き上がってしまい、目地も痩せたようになっていた。施工業者に連絡すると、見に来て、「劣化によるもので、タイルは全面張り替えになる」と言われた。数百円のカビ取り剤を掛けただけでタイルを張り替えなければならなくなるのは納得がいかない。カビ取り剤で目地が痩せたりタイルが剥がれたりする事例はあるか。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(中高年の女性)〈消費者〉

⇒当センターでは、今までにカビ取り剤で浴室のタイルが剥がれたという相談はありません。

カビ取り剤で目地が痩せたという相談もありませんでした。なお、一般的に、浴室の目地が痩せる原因として、ブラシなどで擦ることによる削れがあると言われています。

10. <下駄箱用防カビ剤が逆効果> 一戸建ての自宅に住んでいる。1ヵ月ほど前に思い立ち、下駄

箱を丁寧に掃除したのち、通信販売で購入しておいた下駄箱用の消臭防カビ剤を置いた。ところが、最近、下駄箱の中のブーツをはじめとする大半の靴に、青かびや白かびの様なものが広がっている事に気付いた。以前はこのようなことはなかった。同様の事例がないか、これから通信販売の会社に問い合わせるに先立ち、知っておきたい。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(若い女性)〈消費者〉

⇒ご使用された製品は、その成分表示によると、ある種の細菌(納豆菌の仲間)を主成分としたものと思われます。過去13年のデータベースを確認しましたが、当センターには本製品に関するお問い合わせは寄せられていません。同種の細菌を基本とした防カビ剤で、「効果が強すぎる」といった内容のご相談が昨年1件寄せられています。メーカーや販売元に、本製品の使用方法や効果について、納得の得られる説明を求められるとよいでしょう。

◆ 品質クレーム関連相談－3件

1. <遮光カーテンの遮光性基準> 「『遮光性あり』と表示された色はブラウン系の布地カーテンを購入した。しかし、夜部屋の明かりをつけていると、部屋の人影が外からよく分かってしまうので、店に返品を申し出たところ、「遮光基準は満たしているので返品は受け付けられない」と断られた。遮光性に基準はあるのか」との相談を、若い女性から受けたがどうか。
〈消費生活C〉

⇒カーテンの遮光性についての国で定めた基準はありません。一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会(<http://nif.or.jp/>)で、業界の自主基準(http://nif.or.jp/mark/images/performance_01_2013.pdf)を定めています。それによると、JISの決めた遮光性能試験方法で測定し、遮光1級から遮光3級までとなっています。詳しくは協会にご相談ください。

2. <1年前に購入したチェストの異臭> 1年ほど前に、自宅用にネット通販でチェストを購入した。しかし、いまだにガラス戸をあけると酸味臭がする。この臭気は人体に害はないのだろうか。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(中高年の女性)〈消費者〉
⇒お話からだけでは、チェストに使われている材料等がわかりませんので、断定的なことは申せません。家庭用品品質表示法では、タンス等の雑貨工業品について、材料や表面加工の種類等の表示を義務付けています。販売元に材質等を問い合わせ、あわせて臭気の安全性や消臭方法等を聴取されてはいかがでしょうか。

3. <美容院で購入したシャンプーが白濁> 美容院で石けんを主成分としたシャンプー〇〇を勧められ、10年来使用してきた。容器は当初購入したものを使い回し、詰め替え用の内溶液を都度補充して来た。3週間ほど前に、いつものように内溶液を補充して使用したところ、頭皮に痒みを感じるようになったが、気にせずにはほぼ毎日洗髪していた。しかし、一昨日になって通常は透明な内溶液が、白濁しており、かすかにヨーグルト様の臭いがすることに気付いた。発売元に連絡し、内溶液を送り返して調査を依頼している。今後ともこのメーカーの製品を使い続けてよいものだろうか。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(中年の女性)〈消費者〉

⇒お話からだけでは、〇〇の使用継続の可否は当センターでは判断できません。頂いた情報だけから類推すると、白濁の原因として、異物(水など)の混入や、雑菌の繁殖など、いくつかの原因が想定できます。まずは、発売元の調査結果を待ち、納得いく回答を求められてはいかがでしょうか。その際、文書での回答を求められることをお勧めします。

◆ 一般相談等

- ◆ <メラミンスポンジの食品への使用の是非> 「先日、家庭用のメラミンスポンジ(メーカー等不明)で、ナスの皮を洗ったところ、色が落ちて洗いが紫に濁った。ナスの種類によっては、濁らない場合もある。このような事があるのだろうか」との相談を、60歳代の女性から受けている。メラミンスポンジは、野菜洗いに使用してよいか。〈消費生活C〉

⇒インターネットで、各社のメラミンスポンジ製品の注意書きを調べたところ、大半の製品には『人体や食品には使用しないでください』と明記してあります。やはり、食品洗いには、メラミンスポンジは不向きであるものと思われます。メラミンが固めの樹脂であるので、メラミンスポンジは表面を軽く研磨する能力があります。このため、柔らかい野菜等の表面が薄く削られ、洗いが着色したものと思われます。各種製品をお使いに当たっては、その取扱説明や注意書きをよく読んで、正しく使用されるよう、ご指導をお願いします。

- ◆ <洗顔石鹸の成分表示と安全性> 「△△社の洗顔石鹸〇〇を使用している。先日、この製品の成分表示に記載された『コカミトDEA』に、発ガン性があるとの情報をインターネットで知り、不安を覚えた。使用をやめるべきだろうか」との相談を、中年の女性から受けている。どう対応すべきか、アドバイスいただきたい。〈消費生活C〉

⇒『コカミトDEA』は化粧品で泡を安定させる成分として使用されています。一方、世界保健機

構（WHO）の外部組織である国際ガン研究機関（IARC）は2011年に、本成分をGroup2Bに分類すると発表しました。これは、『ヒトに対する発癌性が疑われる』とされるカテゴリで、ここには他にコーヒー等が登録されています。発表によれば、本成分でヒトがガンを発症した例は報告されていません。本成分の有無を以って、当該製品の使用の是非を判断することはできないと思われます。△△社の話も聞くなどして、総合的に判断されるよう、お話しされてはいかがでしょうか。

- ◆ <タンクタイプ除湿剤中に溜まった液の安全性> 「タンクタイプの除湿剤に溜まった液が漏れて、衣服についた。この液は人体に害はないか。また、この液が服についた場合、どのように処置すればいいか」との相談を受けているが、どうか。〈消費生活C〉

⇒タンクタイプの除湿剤を使用して中にたまった液は、塩化カルシウムが空気中の湿気を吸収した水溶液です。塩化カルシウムは海水中にも含まれる化合物で、人体への有害性は大きくありません。しかし、この液体は弱アルカリ性で、目や粘膜を刺激し、皮膚につけたまま長時間放置すると化学やけどを引き起こす可能性があります。取り扱うに当たっては、炊事用手袋やマスク等、適切な保護具をご使用ください。また、衣服に付着した場合は、直ちに洗濯をされるのが良いでしょう。

- ◆ <微生物系排水管洗浄剤の安全性> 「先日、△△社の排水管洗浄剤〇〇を購入した。この製品は、××菌による洗浄効果を謳っている。××菌は人体に安全なものか」との質問を消費者から受けているが、どうか。〈消費生活C〉

⇒××菌は納豆菌の仲間で、△△社が独自に土壌の中から選別した微生物との事です。油脂などを分解する効能があり、人体には安全とされています。しかし、製品の安全性については、そのメーカーが責任もってお答えできますので、本件は△△社の相談窓口等に問い合わせるよう、お話しください。

- ◆ <調理器具の補修に用いた接着剤の安全性> 「先日、木製の蒸し器の蓋を、××で購入した汎用接着剤〇〇で接着した。いざ使用する段になって、接着剤は人体に無害か不安となった。接着剤の成分表示には『酢酸ビニル樹脂（40%）、水（60%）』と記載されている。」との相談を受けているが、どうか。〈消費生活C〉

⇒家庭用接着剤は、家庭用品品質表示法で使用法や成分を表示することが義務付けられています。ここで、成分表示は主要なもののみでよいこととなっています。日本接着工業会に問い合わせましたところ、「食品包装用途に用いる接着剤は、業界の自主基準としてNL規制を設けて、使用してはいけない添加物等を規定している。」との事です。本件の場合、NL規制に対応

した製品であるかも不明ですので、製品の安全性については、販売店を通じてメーカーにお問い合わせください。

- ◆ <衣類に付いた洗剤臭と思われる異臭の除去方法> 先日、木綿のブラウスを友人からもらいうけた。手に取ってみると、頭が痛くなるような異臭がした。この異臭は洗剤によるものと思う。そこで、これを洗いなおして天日干し、あるいは湯につける等試したが、異臭が消えない。異臭を消す良い方法はないか。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。

(若い女性)〈消費者〉

⇒「異臭の原因が洗剤だと思う」と申されても、友人が使われた洗剤の種類がわからないため断定的なことは申せません。一般的には、わずかに残る異臭を一瞬にして、完全に除去する事は極めて困難と思われます。ブラウスをお気に入りの洗剤で洗い、風通しの良い屋外に比較的長時間干す作業を繰り返して、徐々に無臭化させてゆく方法が、面倒なようでも効果的かと思います。

- ◆ <量にこぼしたビーズ型消臭剤の安全性> 先日実家を訪れた際、△△社のビーズ型室内用消臭剤〇〇を誤って倒し、容器内のビーズを畳の上にこぼした。直ちにビーズは全量回収し、畳を拭いた。手を洗い服も洗濯したが、人体に悪影響のある成分が残留していないかと心配している。自分の子供がこの畳を這い回るなどしても、健康に影響はないだろうか。化学製品PL相談センターはインターネットで知った。(中年の女性)〈消費者〉

⇒ビーズ型消臭剤の消臭成分には、植物精油や陰イオン系界面活性剤等が用いられているのが一般的です。これらの成分が畳や服、皮膚等に付着したとしても、健康に害をなすほどの量になるとは極めて考えにくいでしょう。皮膚は石けんでよく洗い、衣服は洗濯する等、通常の油汚れと同様の対処でよいものと思われます。しかし、製品の安全性についてはそのメーカーが責任もってお答えできますので、本製品の安全性や取り扱い方法等について、△△社の相談窓口に関合せてはいかがですか。

- ◆ <仕事先で使用する洗剤の安全性> パート先で、油で揚げ物をし、その容器(フライヤー)を△△社の〇〇という洗剤で洗って計量カップの水で軽く流し、布で拭いたらまた油を入れて使用している。この洗剤がものすごく強力なで、泡が飛んで腕などに付き、忙しいのでそのままにしておくと水膨れになっている。このようなものでフライヤーを洗い、簡単に水で流しただけでまた油を入れて揚げ物をしても、その揚げ物は体に有害ではないのか心配だ。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(中年の女性)〈消費者〉

⇒個々の製品の安全性については、メーカーが責任を持ってお答えしますので、直接お尋ねく

ださい。ご参考までに、ご使用の洗浄剤は業務用のアルカリ洗浄剤ですので、ご使用の際には、手袋はもちろんのこと、保護メガネ、マスクをして使用することが肝要です。もし肌に付いてしまったらすぐに洗い流すこと、万一目に入ったら直ぐに流水で15分位洗い流した後、眼科に受診することです。使用方法是正しく守り安全にご使用ください。

- ◆ <灯油臭の安全性> 自宅で、暖房機に灯油を給油する際、灯油臭が衣服や体についてなかなか消えない。自宅には幼児がいるので心配している。衣服や体についた灯油臭が幼児に有害ではないか。化学製品PL相談センターは消費生活センターから紹介された。(中年の女性)
〈消費者〉

⇒灯油は、中央労働災害防止協会が提供する安全データシートによれば、ヒトが吸入してめまいや気道刺激の例はあるものの、急性毒性は低いとされています。灯油を給油する際に衣服等に吸着した灯油の蒸気が、幼児の健康に影響するほどの量にはならないと思われます。なお、給油に当たって、多少は手に付着することもあり得ますので、作業に当たってはプラスチック素材の手袋等を使うとよいでしょう。

- ◆ <シロアリ駆除剤の安全性> 9ヵ月前に、賃貸マンションの1階に入居した。先日、寝室の柱でシロアリを発見し、管理会社に相談して、業者にシロアリ駆除を依頼することとなった。自分の子どもがアレルギー体質であることを告げたところ、比較的安全とされる△△社のベイト剤〇〇を用いると言われた。しかし、薬剤の設置場所が寝室であるため、不安を感じている。この駆除方法は安全だろうか。化学製品PL相談センターはインターネットで調べた。(中年の女性) 〈消費者〉

⇒〇〇は、フルムロン系の薬剤を配合した固形製剤で、メーカーの安全データシートによれば、化学物質としてのヒト健康有害性は低いものと思われます。製品の安全性については、そのメーカーが責任もってお答えできますので、△△社の相談窓口にお問い合わせください。また、ベイト工法とは、公益社団法人日本しろあり対策協会によれば『シロアリの駆除剤を混入した餌（ベイト剤）をシロアリに摂食させて、シロアリの集団を死滅させるシステム』との事です。設置方法について、お近くのしろあり対策協会にご相談されてはいかがでしょうか。

- ◆ <PL保険加入の是非> 雑貨製造業を営んでいる。今般、肌にやさしいリップクリームが完成したので、商品化したいと考えている。市販するに当たり、PL保険をかけておくべきか、アドバイスいただきたい。化学製品PL相談センターはインターネットで知った。(中年の女性)
〈事業者〉

⇒当センターは、個別の事業や商品に関するコンサルタント業務は行っておりません。本件はコ

ンサルタント会社、損害保険会社等にご相談ください。

- ◆ <〇〇の調査> 調査会社に勤務している。現在、化合物〇〇の用途や〇〇を含有した製品の調査を行っている。本件について、情報をいただきたい。化学製品PL相談センターはインターネットで調べた。(若い男性)〈事業者〉

⇒当センターは、特定の企業に対するコンサルタント業務は行っておりません。本件はしかるべき業界団体等にお問い合わせください。

.....★ 出前講師のご案内 ★.....

化学製品PL相談センターに寄せられた相談事例をもとに、化学製品による事故を防ぐための生活上の注意点等についてお話しさせていただきます。各地の消費生活講座や、地域のサークルの勉強会などに、ぜひご活用ください。
日時・費用・その他の詳細につきましては、お気軽にご相談ください。

(TEL 03-3297-2602 担当：保刈(ホカリ))

2. 入手資料の紹介

—2013 年 11 月度に化学製品 PL 相談センターで入手した主な資料をご紹介します。
あわせて、資料の中で化学製品に関連すると思われる記事についても紹介しています。

1. 公益財団法人自動車製造物責任相談センター「相談状況（2013 年 10 月度）」
2. ガス石油機器 PL センター「I N F O R M A T I O N」2013. 10
3. 家電製品 PL センター「インフォメーション《2013 年 10 月度》」
4. 生活用品 PL センター「インフォメーション(H25 年 4 月～H25 年 9 月)」
5. 消費生活用品 PL センター「相談等の受付状況(平成 25 年 4 月～9 月受付分)」
6. (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター「住宅相談統計年報 2013」
7. プレジャーボート製品相談室「活動状況報告書№17 中間(平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月)」

化学製品 PL 相談センターニュースメールメンバー登録受付中！

『アクティビティーノート』の発行や、催し物、出版物のご紹介など、当センターの最新情報を随時お知らせするインターネットメールサービスです。

- ・人数や資格の制限はありません。(誰でも登録できます。)
- ・費用は無料です。(インターネット通信費・接続費は各自でご負担ください。)
- ・お申し込みは E-mail (PL@jcia-net.or.jp) で。
(件名に「ニュースメールメンバー登録」とご記入ください。)
- ① ご氏名(フリガナ) ② お勤め先(フリガナ) ③ ご所属・お役職・ご担当など
- ④ ご連絡先(勤務先か自宅かを明記)の住所・TEL・E-mail アドレス

※ ご連絡頂きました個人情報、当センターのプライバシーポリシーに則り適正に管理いたします。

3. メディア情報から

新聞(首都版)などで報道されている、化学物質・化学製品、消費者問題等に関する記事を紹介するコーナーです。

(記事の存在のみご紹介しています。記事そのものの提供は著作権法により禁じられていますので、内容の詳細は各紙面でご確認ください。)

- * 花王は、カネボウ化粧品の美白化粧品による白斑被害問題で、回収に絡む費用を今期 113 億円と予想。2013 年度連結純益を下方修正した。(10/31 読売、日経)
- * 京都西川は、わた入り毛布等 3 点を、組成表示が不適切として自主回収すると発表。今年 8 月以降に判明したタオルケット等の表示不備による自主回収と合わせて、回収対象は 26 万点程度となる。(11/9 朝日、毎日)

★アクティビティーノートに関するご意見・ご感想をお待ちしております。

化学製品PL相談センター

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 住友六甲ビル

TEL : 03-3297-2602 FAX : 03-3297-2604

URL : <http://www.nikkakyo.org/plcenter/>

化学製品による事故を防ぐために

匂いと臭い(におい)

「こころときめきするもの……よきたき物たきて ひとりふしたる」と『枕草子』(第26段)にもあるように、くらしの中でよい匂い(ニオイ)を楽しむということは、すでに平安時代から貴族たちの間で行われており、現在もさまざまな香りの芳香剤等を使ったルームフレグランスが楽しまれているようです。一方で、昨今の清潔志向も反映してか、不快な臭い(ニオイ)はすぐにでも消したいという欲求も強まっており、消臭剤や脱臭剤等も普及してきています。



私たちの身の回りには数多くのニオイが存在し、私たちの生活と密接な関わりをもっています。当センターには、化学製品や化学物質のニオイについての苦情や問い合わせも多く寄せられていますが、そもそも「ニオイ」とは一体どのようなものなのでしょうか。

ニオイは、空気中をただようニオイ成分の分子が呼吸によって取り込まれ、鼻の奥にある神経細胞の受容体にキャッチされて、その信号が脳に伝わり感知されます。ニオイ成分は40万種以上あるといわれていますが、ひとつのニオイ成分でも濃度が変わると異なった感覚を受けることがあり、例えば、低い濃度ではバターのような匂いに、高い濃度では汗の臭いに感じられるものもあるそうです。また、ひとつひとつはよい匂いでも混ざり合うと不快な臭いに感じられたり、糞便のニオイ成分の一種をわずかに加えることにより香水の香りに奥行きが感じられたりするなど、複数のニオイ成分の相互・相殺作用によって感じ方が変化することもあります。

個々のニオイ成分の分子構造は徐々に解明されてきていますが、ニオイと分子構造との間の明確な関係は明らかにされていません。青葉の香りのするニオイ成分が、ほんの少し構造が変わるだけで菊の花の香りのニオイ成分になるといったように、似かよった分子構造をしていてもニオイが異なる場合があります。その反対に、分子構造が異なっているにもかかわらずニオイが似ている場合もあるのです。

しかも嗅覚には個人差も大きく、同じニオイを嗅いでも、人によって快・不快の印象が異なったり、全く同じ濃度のニオイでも感じる人と感じない人がいたりします。このように、ニオイ成分とそれを感じる嗅覚の関係については未解明の部分が多く、ニオイを官能的に分析・評価する方法もまだ確立されていないというのが現状です。

また、ニオイを感じることができる最低限の濃度を閾値といいますが、この値はニオイ成分ごとに異なります。低い濃度でもニオイを感知できる成分もあれば、高い濃度にならないとニオイを感知できない成分もあり、必ずしもニオイがするから濃度が高く、ニオイがしないから濃度が低いとはいえないのです。

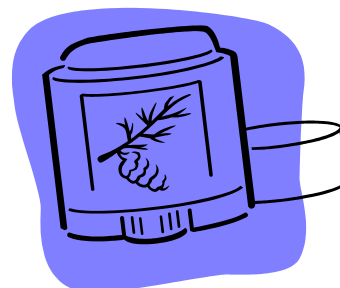
したがって、「化学製品等の臭いにより体調が悪くなった」という相談の場合、ニオイ成分の濃度やその人のニオイに対する感受性などが複雑に絡み合うため、臭いと体調不良との間の因果関係を証明する

ことは非常に困難です。

しかし、不快と感じる臭いを吸い続けなければならない当事者にとっては、深刻な問題です。

臭いを消すための方法として最も効果的なのは換気により部屋の空気を入れ換えることですが、炭や茶ガラ等の吸着剤、空気清浄機、また消臭剤等を利用するという方法もあります。

広義に消臭剤と呼ばれているものには、①ニオイ成分を化学的に中和・分解してにおわない成分に変えてしまうもの、②微生物を用いてニオイ成分を生物的に分解するもの、③ニオイ成分を物理的に吸着したり包み込んだりすることによって抑え込むもの（脱臭剤）、④より強い香りのニオイ成分によって感覚的に感じなくさせるもの（芳香剤、防臭剤）などがあるので、使用後に臭いを感じなくなったからといって、ニオイ成分そのものが除去されたとは限りませ



ん。不快な臭いを一掃したいと思うあまり、消臭剤等を使いすぎたり、複数の製品を併用したりすると、ますます不快な臭いになったり、かえって室内の化学物質の濃度が増えてしまったりする場合もありますので、ニオイや化学物質に敏感な方は注意が必要です。

特に冬の季節、暖房して閉め切った部屋の中では、建材、洗浄剤、殺虫剤等から発生する揮発性有機化合物のほかに、人間の吐く息やタバコ、調理の際の煙、ペットの毛、ダニ、カビ等、様々な要因によって室内の空気が汚染されています。外は寒い日が続きますが、定期的に窓を開けるなどして、空気を入れ換えましょう。

また、最近はニオイに敏感な方が増えたのか、香りを訴求する製品が多くなったのか、ニオイについての苦情や問い合わせが増えています。先にも述べたように、ニオイについては感じ方に個人差があり、自分では良い匂いと感じていても、他の人の中にはそのニオイには耐えられないと感じる人もいるということを理解して、香りの製品（香水や柔軟剤や制汗剤など）を使用する場合は、周囲に配慮することも大切なマナーです。

協力：日本石鹼洗剤工業会

※ 次号の『アクティビティーノート』は、1月14日頃に発行の予定です。お楽しみに。